

# すすめ!たかわん

発行日 : 2013年9月10日  
 発行番号 : 11  
 発行者 : NPO法人みたか都市観光協会  
 お問い合わせ : 0422-40-5525  
 URL : http://taka-1.mall.mitaka.ne.jp/

公益財団法人三鷹市芸術文化振興財団

## 絵はがき

～三鷹からのメッセージ～

「絵はがき～三鷹からのメッセージ～」とは？  
 ～公益財団法人三鷹市芸術文化振興財団難波さんに聞く～



絵はがき  
 ～三鷹からの  
 メッセージ～  
 10枚セット  
 600円(税込)

絵はがき～三鷹からのメッセージ～は「三鷹といえどここ！」という場所を取り上げ、その場所、その風景の一番いい時季・アングルの写真を厳選しました。三鷹市芸術センターや国立天文台など、三鷹の歴史・自然・文化に触れられる写真で構成されています。選出の際、国立天文台からみた冬の星座や祭りの様子なども候補に挙がっていました。今後写真の入れ替えがあった際、新たに見どころの場所・風景が増えているかもしれません。

この絵はがきは「公益財団法人三鷹市芸術文化振興財団」の前身である三鷹市文化振興事業団が、三鷹のPRのために製作を始めました。最初は絵はがきⅠ、絵はがきⅡとⅡセットがありましたが、平成15年にこれらをひとつにまとめ、中身をさらに厳選して今の編成となりました。

最近ではインターネットやメール等で簡単に連絡を取り合えますが、この絵はがきを使ってお便りを書くのも趣があってよいのではないのでしょうか。「市外の人へ使うと喜ばれるという声が多いです。」と難波さんは語っていました。また、この絵はがきを眺めていると、季節の移り変わりや建築の美しさを改めて「いいな」と感じる事ができると思います。三鷹は本当に素晴らしいと感じられるものがたくさんありますね。

## おすすめのグッズがほかにも！

公益財団法人三鷹市芸術文化振興財団では絵はがきの他に様々なグッズを販売しています。例えば、山本有三記念館の一筆箋があります。表紙には、美しい洋館の写真がレイアウトされています。最近では新しく「太宰治クリアファイル」が発売されました。色は3種類あり、実用的で使い勝手もよく、こちらもおすすめです。



三鷹市山本有三記念館の一筆箋。来館記念やおみやげにぴったり。  
 2種 各300円(税込)



太宰治のクリアファイル。  
 3色 各300円(税込)

## TAKA-1 に選ばれて変わったことはなんですか？

難波さんは「三鷹のおみやげとして自信を持つことができ、イベントに参加してPRの機会も増えました。一緒に認定された方々とのご縁ができたこともうれしいですね。」とおっしゃっていました。

TAKA-1(タカワン)は、市内の魅力的な商品を TAKA-1として認定することで、多くの人たちにその良さを知ってもらい、三鷹市を代表するブランドとして育てていこう！そんな思いで始めた事業です。NPO法人みたか都市観光協会、(株)まちづくり三鷹、三鷹商工会をはじめ、市内の様々な団体が協力して実施しています。

現在「おみやげ部門」として、19商品が認定されています。

この情報紙「すすめ!たかわん」では、毎回1つずつ、認定品の魅力や、作っている方々の熱い思いを、みなさんにお伝えしてまいります。

## 公益財団法人 三鷹市芸術文化振興財団とは？

公益財団法人三鷹市芸術文化振興財団は、市民に優れた芸術文化の提供と市民の芸術文化活動の奨励・援助を行って、三鷹市芸術文化センター、三鷹市公会堂、三鷹市山本有三記念館、みたか井心亭、三鷹市美術ギャラリー、太宰治文学サロンの6施設の管理を行っています。

## 三鷹市芸術文化センターについて

三鷹市芸術文化センターはホールの貸出もしており、市民や多くの人々の表現の場として使われています。風のホールでは合唱やピアノ発表会、星のホールではお芝居などに利用されています。使用率は9割を占め、リピーターも多いです。芸術文化センターは各ホールに特徴があり、使用する人が使いやすい造りになっています。また、スタッフの皆さんもとても親切で、事前打ち合わせがしっかりしているのも、多くの人に利用されている要因ですね。

芸術文化センターでは財団主催で様々なイベントが行われています。ピアノやヴァイオリンのリサイタルを始め、オーケストラ、落語、映画上映と目白押し。「芸術の秋」ということで、秋のおすすめ公演は、『ガリレオ・プロジェクト～天空の音楽～』と『CINEMA SPECIAL』とのこと。『ガリレオ・プロジェクト～天空の音楽～』では、バロック・アンサンブルが奏でる音楽と語り、宇宙望遠鏡で捉えた画像が重なって、国立天文台のある三鷹ならではのものになっています。また『CINEMA SPECIAL』では、名作洋画がフィルム上映され、「ローマの休日」や「ゴッドファーザー」など誰もが一度は聞いたことがあるような名作を観るチャンスです。難波さんは「フィルム上映は、映画館においてもデジタル上映が主流の今日ではとても貴重です。是非、大きなスクリーンでどうぞ。」と教えてくださいました。

## もっと皆さんに知ってほしい！



絵はがきを手にする難波さん。

財団では様々な事柄に取り組んでいますが、さらに多くの方々に知っていただき、もっと利用していただきたいと考えています。「クラシック音楽は難しそう」、「芸術は敷居が高い」と思われがちですが、ぜひ一度施設を利用し、イベントに参加してみたいかがでしょうか。芸術にもっと触れてほしいと、職員やボランティアの方たちが小学校に出向き、子どもたちに絵画の紹介をしたり、市内の全小学校を回ってプロの演奏家による訪問演奏も行っています。芸術鑑賞会などの行事が減っている中でこのような取り組みは子どもたちにとっても良い機会ですね。

「財団のファンがもっと増えてほしい。」と難波さんはおっしゃっていました。三鷹市はとても芸術に親しみやすい環境がつけられています。ぜひ一度利用してみたいかがでしょうか。



三鷹市芸術文化振興財団がどんな事をしていのかとてもよくわかりました。

取材にお答えいただいた難波さん、本当にありがとうございました。

この記事を読んでもくれたみなさんに絵はがきや三鷹市芸術文化振興財団のことを少しでも知っていただければ嬉しいです。(わんこ)